

2018年度予算案を閣議決定、国交省・住宅対策は17年度並み



政府は12月22日、2018年度予算案を閣議決定した。国土交通省の**住宅対策予算は1505億円**でほぼ**2017年度並み**。セーフティネット住宅の整備など若年・子育て世帯や高齢者世帯が安心して暮らせる住まいの確保に向け1110億円を計上したほか、省エネ住宅・建築物の普及に向け222億円、既存住宅流通・リフォーム市場の活性化に向け53億円を盛り込んだ。

新規の事業では住宅瑕疵等に係る情報インフラ整備事業(国費1.2億円)、空き家対策の担い手強化・連携モデル事業(国費3億円)が計上された。既存ストックの活用などを進める。耐震改修補助では、補強設計から耐震改修までパッケージで支援する総合的なメニューを創設する案を盛り込んだ。100万円を限度に定額補助を行う。

情報提供: 国土交通省

求めやすい価格で除菌水生成器を標準搭載、TOTOキッチン「ザ・クラッソ」

凹凸のないデザインが特徴的なシステムキッチン「ザ・クラッソ」に求めやすい価格の2プランを設定して2018年2月1日に発売する。

今回追加するのは、「**おすすめプラン**」と「**クリスタルプラン**」の**2つ**。独自のクリーン技術「**きれい除菌水**」生成器を標準搭載して、**網かご、まな板・包丁、ふきんなどを除菌する**。

「おすすめプラン」には、ニーズが高いアイテムである人工大理石カウンター、スクエアすべり台シンク(人工大理石)、水ほうき水栓LF、スーパークリーンフード、ガラストップ両面焼きコンロなどを搭載。I型間口2550mmで83万1000円〜と従来の同等仕様より約20万円求めやすい価格とした。

もう1つの「クリスタルプラン」は、おすすめプランの各種アイテムに加えて、クリスタルカウンター、スクエアすべり台シンク(クリスタル)を標準搭載。ハイブリッドエポキシ樹脂を使用したクリスタルカウンターは、すりガラスのような透光性があり、耐熱・耐久性にすぐれる。I型間口2550mmで101万1000円〜。

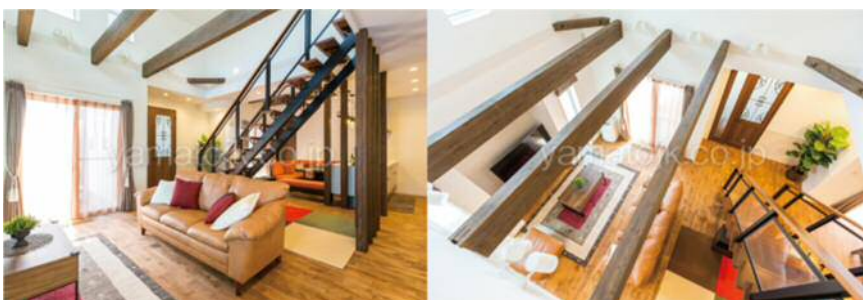
情報提供: 新建ハウジング



ヤマト住建、ルームエアコン1台で全館空調の「ぬくぬくハウス」1640万円で発売

ヤマト住建(兵庫県神戸市)は、**ルームエアコン1台で全館空調する「YUCACOシステム」を標準採用したZEH対応住宅「ぬくぬくハウス」を、30坪1640万円で2018年1月1日に発売する**。

「YUCACOシステム」は、ルームエアコンと全熱交換式一種換気を利用することで1年中快適に全館空調する省エネルギーなシステムで、「一般社団法人YUCACOシステム研究会」会長である東京大学 坂本雄三名誉教授指導のもと導入が実現。従来の全館空調システムと比較してイニシャルコストを大幅に抑えることができ、住み心地の改善や健康効果、低コスト・省エネの面で高い効果が得られるという。



情報提供: 新建ハウジング